

3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が65.0%、「原因の調査が中心」が21.0%

〈統計表第21表、第27表参照〉

典型7公害の直接処理件数(42,899件)を処理方法⁸別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が27,885件(65.0%)、「当事者間の話し合いが中心」が757件(1.8%)、「申立人に対する説得が中心」が1,765件(4.1%)、「原因の調査が中心」が9,020件(21.0%)となっている。【図20、表11】

図20 処理方法別典型7公害の直接処理件数

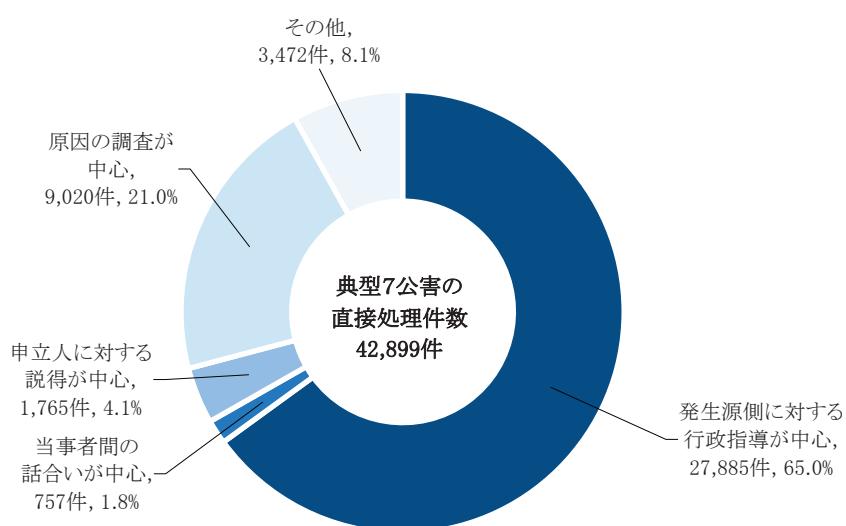


表11 処理方法別典型7公害の直接処理件数

(単位:件)

	公害の種類	合計	発生源側に対する行政指導が中心	当事者間の話し合いが中心	申立人に対する説得が中心	原因の調査が中心	その他
直接処理件数	典型7公害	42,899	27,885	757	1,765	9,020	3,472
	大気汚染	11,432	8,795	98	318	1,514	707
	水質汚濁	3,635	1,303	43	98	1,792	399
	土壤汚染	195	98	7	7	66	17
	騒音	17,350	11,851	443	905	2,644	1,507
	低周波音	243	69	16	30	98	30
	振動	2,297	1,629	53	82	339	194
	地盤沈下	26	2	-	5	8	11
	悪臭	7,964	4,207	113	350	2,657	637
構成比(%)	典型7公害	100.0	65.0	1.8	4.1	21.0	8.1
	大気汚染	100.0	76.9	0.9	2.8	13.2	6.2
	水質汚濁	100.0	35.8	1.2	2.7	49.3	11.0
	土壤汚染	100.0	50.3	3.6	3.6	33.8	8.7
	騒音	100.0	68.3	2.6	5.2	15.2	8.7
	低周波音	100.0	28.4	6.6	12.3	40.3	12.3
	振動	100.0	70.9	2.3	3.6	14.8	8.4
	地盤沈下	100.0	7.7	0.0	19.2	30.8	42.3
	悪臭	100.0	52.8	1.4	4.4	33.4	8.0

8 処理方法の区分は、「発生源側に対する行政指導が中心」「当事者間の話し合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類